



翁島小学校だより

第15号 H29. 11. 24 発行 文責：校長 星 善樹

◎ 素敵な歌声と作文朗読でした。

～ 野口英世博士誕生祭、野口作文コンクール・少年科学賞表彰式 ～

11月9日(木)野口英世博士誕生祭と野口作文コンクール、少年科学賞の表彰式が野口英世記念館至誠館で行われました。本校からは、4年生が参加しました。誕生祭では、校長とともに横澤秀哉さんが献花を行いました。その後、4年生全員がK.Kさんのピアノ伴奏で「野口英世の歌」を合唱しました。会場には、美しい歌声が響き渡りました。

誕生祭が終わると、作文コンクールと少年科学賞の表彰式です。野口英世博士に関する課題作文の部で最優秀賞に輝いたK.Kさんが、立派に作文を朗読しました。

以下、K.Kさんの作文を掲載します。



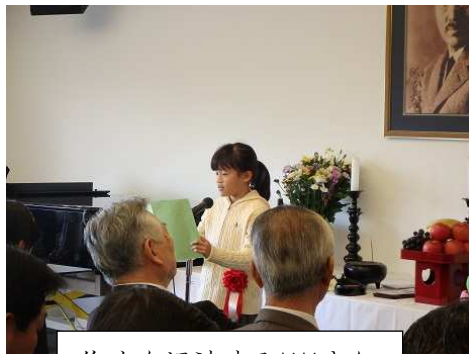
「野口英世の歌」を合唱する4年生

母の願いをむねに

翁島小4年 K.K

私の家は、野口英世博士の生家からとても近い場所にあります。野口記念館にもこれまで何度か行ったことがありますが、あまり野口博士の事を知りませんでした。しかし、今年の夏休み、野口博士の事を書いた本を見る機会があり、博士の事を少しだけ知ることができました。その本の中で一番心に残ったのが、母シカさんからの手紙でした。その手紙は、遠く海外に行ってしまった息子の英世の事を思い、もう一度だけでいいから会いに帰ってきてくださいと願う気持ちだけを、ただただ書いた手紙でした。今まで何度か目にしたことのある手紙だったはずなのに、今回読んでみて母シカさんの気持ちがとてもよく伝わってきて、とても心を動かされたのです。なぜかという、今回この手紙を読んでいた私は、ふと、母からの言葉を思い出したからです。「どんなに小さいことでもいいから、人のためにがんばれる人になってほしい。」この言葉は、私が小さい時から母にいつも言われている言葉です。私は、未熟児で生まれ、体重も1,372グラムしかありませんでした。とても小さくて、ちゃんと育つかどうかとても心配されたそうです。今年の夏、母は当時の事を書いた一冊のノートを私に見せてくれました。それは、わたしが保育器に入っていた時の、両親と看ごしさんたちとの交かん日記でした。その中には、たくさんのチューブにつながれテーブルだらけになった私の写真や、日齢、体重や身長の変化、頭囲、胸囲、わたしが毎日どんな風に生きて育ってきたかが書いてありました。その日記を見るのは初めてだったので、とてもドキドキしました。ノートの中では、両親だけでなく、看ごしさんが、何回も、「がんばれKちゃん！」と応援してくれていました。そして、母が心からわたしを心配していることがとてもよくわかりました。ノートを見ていた私は、当時の私の周りにいた人々、特に母の気持ちが強く伝わってきてなみだが出そうになっていました。わたしは、たくさんの人に助けってもらって、今ここにいることができるのです。だから、母は、わたしに、自分の周りの人々にどんな小さなことでもいいから恩返しができる人になってほしいという願いを話してくれていたのです。

わたしは、この夏、母の願いに気づくことができました。だからこそ、シカさんの英世を思う気持ちに気づくことができました。野口博士に、シカさんがいたように、わたしにもわたしを守ってくれる母がいます。わたしは、母からの言葉や、母の願いをむねにまわりの人々に恩返しができるように生きていきたいと思います。



作文を朗読する K.K さん

◎「猪苗代湖子ども交流会」に参加してきました。

11月17日(金)郡山市公会堂において、「猪苗代湖子ども交流会2017inこおりやま」が行われ、5年生が参加してきました。この催しは、猪苗代湖に関係の深い猪苗代町、会津若松市、郡山市の3市町が会場を持ち回りし、毎年実施しているものです。今年の発表校は、郡山市立湖南小学校、会津若松市立湊小学校、そして本校の3校でした。それぞれの学校がそれぞれの水環境学習の様子を発表しました。

本校の5年生の発表の柱は、三城潟のヨシのたくさん生えている場所と同じ三城潟でも翁島小学校が伝統的にヨシ刈りをしている場所との比較でした。まず、水質についての調査結果を発表しました。圧倒的に、ヨシ刈り続けている場所の水質が良いということでした。その理由として考えられるのが、ヨシは枯れるとヘドロ化し水質を悪化させるということです。さらにそのヘドロ化したヨシは、次の年のヨシが大きく大量に成長するための栄養分となります。このように、ヨシ→ヘドロ化→水質悪化とさらなるヨシの成長→大量のヘドロ→水質のさらなる悪化…といった悪循環に陥るということです。水質改善のためには、この悪循環を断ち切らなければなりません。そのためには、枯れてヘドロ化する前にヨシを刈る必要があります。本校が伝統的にやっているヨシ刈りは、確実に猪苗代湖の環境保全に役立っている。そして、今後もこの活動が続け、後輩に引き継いでいきたいという素晴らしい内容の発表でした。3つの学校の発表が終わった後は、「カワセミ水族館」の平澤桂先生の講演を聞きました。猪苗代湖やその周辺にはどんな魚が住んでいるか、どんな水生生物がすんでいるか、今、それらの生き物はどのような状況にあるのかを映像や実際の生物を見せていただきながら楽しく学ばせていただきました。私たちの故郷「猪苗代湖」はとても魅力的な場所であることがよくわかりました。福島民報社さんが、当日の様子を号外として新聞にして子供たちにプレゼントしてくれました。



学習の成果を発表する5年生



福島民報「号外」

入賞 おめでとう！！

- ◎ 平成29年度 ごみ減量化・リサイクル推進ポスターコンクール
最優秀賞 6年 W.Kさん 佳作 4年 K.Rさん
- ◎ 平成29年度「非行防止・地域安全ポスター」入賞者
優秀賞 2年 F.Y さん「見てくれてありがとう」
佳作 1年 S.A さん「犯罪被害防止(空き巣)」